

### 吉日 (きちじつ)

#### 新實信導

何か物事をはじめめるのに物事がうまくいきますようにと私たちは少しでも縁起の良い日を選んでしまおう。大安吉日、思い立ったが吉日、よく耳にする言葉であるが、この縁起のよい日が吉日と呼ばれている。そもそも吉日とはどういう日なのか、「きちにち」「きつにち」とも読むが、縁起がよく、何かをしたり始めたりするのに最適な日と言われている。また、吉日には複数の種類があり、意味だけでなく年間で訪れる日数なども異なる。

・大安(たいあん)。カレンダーでよく見かけるが、大安を含む六曜の起源は古代中国の占いだそう。これらは日付の良し悪しを表すもので、縁起が良いとされている日を選び祝い事を行って親しまれてきた。大

いに安しの略。

・一粒万倍日(いちりゅうまんばいび)。宝くじ売り場でもよく見かけるが、一粒まいた糶(もみ)が立派に成長して万倍の稲穂になるという日。しかし良いことだけでなく、悪いことも万倍になるという恐ろしい日でもある。注意が必要。

・天赦日(てんしゃにち)。年に五回、もしくは六回あり、天の神様が罪を許してくれる日。何事をするのもよい日だという。

これよりも最上の日がある。日蓮大聖人は、ご信者である四条金吾殿にあてたお手紙に

「八日というのはお釈迦さまの御降誕の聖日である。その日には三十二の不思議な現象があったと伝えられている。①すべての草木に花が咲き実を結んだ。②大地からさまざまの宝が涌き出た。③雨も降らないのに田畑に自然に水が涌いた。

④夜が昼間のように明るくなる。⑤三千世界のどこにも悲嘆の声を聞かなかった。このように、いずれもめでたい瑞相ばかりであった。それ以来、今日に至るまですべて吉事は八日を選ぶことになつていゝ」と。

今月八日はお釈迦さまのご誕生日。この吉日にお寺にお参りして手を合わせてはいかがでしょう。是非お釈迦さまの功徳を頂戴してもらいたいものです。

### 開運祭

新年度の始まる4月。新しい環境で新しい生活が始まります。今までなかった事態に当惑することも少なくないでしょう。どうすればいいのか、困難を切り拓き、新たなステージへ進もうとする人々に力を与え、運命を開いて下さるのが妙見大菩薩です。4月20日は「勝利開運之御守り」が授与される年に一度の日です。

### 《法華経に学ぶ現代》

〜純智庵〜

### 汝等が師は

あなたの師匠は 誰ですか  
私の師匠は 誰ですか

### 為めて

お釈迦さま  
そのまた師匠は 宇宙です  
静かに座つて瞑想し  
宇宙の真理を体現し  
教えを説かれた

### 是れ誰ぞ

お釈迦さま  
お釈迦さま

### 誰の

### 弟子ぞ

お釈迦さま  
お釈迦さま  
宇宙の弟子になりましょう  
あなたも一緒に  
どうですか

『妙莊嚴王本事品第二十七』

### 知識まめ仏教

#### 根性 (こんじょう)

氣立て・こころねのこと。ド根性などと、困難にもくじけない強い性質、何事にも負けずに努力を続ける気力といった意味にも使われる。

もとは仏教語で、仏の教えを受け容れ、その教化を被ることのできる素質。またその人が仏の教えを聞いて修行しうる能力、あるいは本性をいう。また「機根」ともいう。人にはそれぞれ個性があり同じ人はいないように、機根にもそれぞれ差異がある。仏・菩薩は私たち衆生の一人ひとりの機根に応じて法を説き、悟りへと導いて下さる。これを対機説法という。

学校教育の場などでは、生徒全員に一律に授業し、できなければやる気のない者「根性なし」とされる。しかし、教育とは本来一人ひとりの根性Ⅱ機根に応じてなされるべきものではないだろうか。